



聞 善

令和5年10月25日

鶴岡市立東栄小学校通信 第392号

心豊かで活力に充ちた東栄の子ども

67名が心を合わせ、力を発揮した学校祭



学校祭には、多くの方々においでいただき、温かく見守っていただきました。1ヶ月以上前から練習を重ねてきた子どもたちに、皆様の拍手が何よりのプレゼントとなりました。心より御礼申し上げます。

ステージ発表では、普段教室で見る子どもたちの姿とは違った面が多く見られました。後ろの観客席まで届くよう、台詞の言い方や声の大きさを工夫したり、背景の絵や小道具を友だちと協力しながら仕上げたり、衣装や動きを練習しながら変えていったり、どの学年も当日まで、諦めずに改良を重ねてよりよい発表をしようと頑張りました。その成果を感じていただけたのではないのでしょうか。学校祭で発表できたこと、自分を表現できたことは、これからの自信となります。

衣装準備等支えていただいた保護者の皆様、当日会場で温かい応援を送ってくださった皆様、ありがとうございました。今後とも『しっこ』たちへの応援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

歩いた! 登った! やり切った 羽黒遠足

9月29日、前日は本降りの雨で、当日の天気も心配されましたが、無事に「羽黒遠足」を行うことができました。ご家族も体験されている東栄小学校の伝統行事は、親から子へ、先輩から後輩へ脈々と受け継がれています。ご家族の励ましやご協力のおかげで、子どもたちは、やる気いっぱい、楽しみいっぱい臨むことができました。ありがとうございました。

当日は、縦割り清掃班毎に活動しました。1・2年生は、今年度から下山後随神門でバス下校となりましたが、学校出発から、羽黒山の往復までの長い距離をよく歩き通しました。縦割り班の班員のみんなに励まされながら、力をふり絞って歩く姿が頼もしかったです。支えてくれた3年生以上のおみなさんは帰り道も徒歩でしたが、最後まで諦めずにやり抜くことができました。全校のみんながめあてを達成し、心も身体も大きく成長できた「羽黒遠足」でした。

文責：校長

達成感・自信



助け合い



自然・歴史

